

関西性教育研修セミナーについて

性教育・性科学の祖である故・山本宣治や「日本のキンゼイ」と称される故・朝山新一氏などを輩出し、彼らの意志を継ぐ人々によって性教育が活発に行われてきた関西だが、近年は、各種関連団体の活動の低迷下に伴い、新しい人材養成やネットワーク促進が重要な課題となっている。そこで関西での性教育の活性化を促進すべく、(財)日本性教育協会が大阪府立大学・東優子および大阪教育大学・野坂祐子に事務局(企画を含む)を委託し、2006年より始めたのが「関西性教育研修セミナー」である。教育関係者や対人援助専門職者(心理カウンセラーやソーシャルワーカーなど)・医療関係者などの研修(リカレント教育)として、さらには、より広範な市民に対して様々な話題を提供することを通じて、あらゆる個人の「性の健康・権利」の保障の一助としたい。【文責 東優子】

2006年度の実績

8月19日(土)	第1回 子どもの性の安全・性の健康：性暴力の被害と加害 講師とタイトル...性暴力の被害と加害(2日間のワークショップ) 藤岡淳子氏(大阪大学大学院人間科学研究科教授)、野坂祐子氏(大阪教育大学メンタルサポートセンター講師)、吉田博美氏(武蔵野大学非常勤講師)
8月20日(日)	
12月17日(日)	第2回 子どもの性の安全・性の健康：性教育の実践を見る・聞く・学ぶ 講師とタイトル...秋山繁治氏(岡山・清心高校教諭)「性教育講座『いのち』の実践」、土肥いつき氏(セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク)「隠す社会から語れる社会へ」、兵藤智佳氏(早稲田大学講師)「フィリピンNPOの取組事例」、渡辺武子氏(人間と性文化センター理事)「人をすきになるって!すごい!」、宇野賀津子氏(レイ・パストゥール医学研究センター)「ミニミニ・レクチャー：性科学/性教育の歴史」
2007年 3月4日(日)	第3回 子どもの性の安全・性の健康：Living Together—HIV陽性者のリアリティを伝える— 講師とタイトル...矢島嵩氏(日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス HIV陽性者スピーカー研修担当)「当事者のリアリティを伝える等身大の語り ～小さなカミングアウトを大きくネットワーク～」、生島嗣氏(ふれいす東京)「“Living Together”というメッセージ、そして実践」、野坂祐子(大阪教育大学)・吉田博美氏(武蔵野大学非常勤講師)「ワーク：あなたにとっての“言いにくさ”を考える」、東優子(大阪府立大学)「ミニ講義：当事者とは誰で、<私>とは何者なのか」

2007年度の実績

8月26日(日)	第4回 死を見つめ、命を問い直す 講師とタイトル...池上千寿子氏(NPO法人「ふれいす東京」代表)「生命(いのち)について問い直す」、渋谷哲也氏(ライター)「若者の生と死」
2008年 3月15日(土)	第5回 性の多様性と性科学 講師...リチャード・グリーン氏(インベリアル・カレッジ教授)「トランスセクシュアリズムに与える自然と養育の影響」、イーライ・コールマン氏(ミネソタ大学教授)「性の多様性をどう教えるか」、指定討論者・針間克己氏(精神科医)

2008 年度の実績

7月27日(日)	<p>第6回 日本の性と社会のイマドキー若者編— 講師とタイトル…守如子氏(関西大学社会学部専任講師)「女性向けポルノ・コミックにみる女子の性とセクシュアリティ」、鈴木秀子氏(大阪府立北淀高校養護教諭)「保健室からみえる男子の性のアレコレ」、野坂祐子・東優子(厚労省研究班)「女性性行動調査からみえる”おいしいセックス”と性の健康」</p>
11月23日(日)	<p>第7回 日本の性と社会のイマドキー恋愛・結婚編— 講師とタイトル…関口久志氏(千葉大学非常勤講師/『季刊 セクシュアリティ』編集長)「揺れるイマドキの男子の性—男子にこそ豊かな性教育を—」、永田夏来氏(明治大学大学院兼任講師)「結婚と離婚のイマを読み解く」、藤井ひろみ氏(助産師/神戸市看護大学教員)「カミングアウトの足元で—LGBTにとって恋愛・結婚・生殖(から)の自由とは?—」</p>

2009 年度の実績

<p>8月8日(土) ※講師急病のため中止</p>	<p>第*回 SEX & SOCIETY (性と社会) —時代の振り子がふれる瞬間(とき) — 講師とタイトル…ミルトン・ダイヤモンド氏(ハワイ大学医学校教授)「性科学/教育の過去・現在・未来」、池上千寿子氏(NPO 法人「ぷれいす東京」代表)「語り継ぎたい“性と社会”のあんな話・こんな話」</p>
12月12日(土)	<p>第8回 SEX&SOCIETY (性と社会) エイズ四半世紀で何が変わり、何か変わらなかったか 講師とタイトル…北丸雄二氏(NY 在住ジャーナリスト/作家/元中日新聞=東京新聞ニューヨーク支局長)「そして歴史は繰り返された—エイズから新型インフルエンザまでをめぐる社会の反応と対応を読み解く—」、岳中美江氏(陽性者サポートプロジェクト関西)「関西における陽性者支援の現場から」、張由紀夫氏(Rainbow Ring ディレクター/エイズ予防財団流動研究員)「Living Together : 「新宿 2 丁目」におけるコミュニティ・アクション」</p>

2010 年度

8月22日(日)	<p>第9回 児童・生徒の性同一性障害 講師(予定)…中塚幹也氏(岡山大学大学院保健学研究科教授/GID 学会理事長)、塚田攻氏(埼玉医科大学かわごえクリニック/GID 学会理事)、康純氏(大阪医科大学神経精神医学教室/GID 学会理事)</p>
<p>12月12日(日) ※講師急病のため中止 された第8回と同企画</p>	<p>第10回 次世代に語り継ぐ「SEX & SOCIETY (性と社会)」 講師とタイトル…ミルトン・ダイヤモンド氏(ハワイ大学医学校教授)「性科学/教育の過去・現在・未来」、池上千寿子氏(NPO 法人「ぷれいす東京」代表)「語り継ぎたい“性と社会”のあんな話・こんな話」</p>

2011 年度

9月4日(日)	第11回 学校のなかの性的マイノリティ： 教育現場における排除と包摂 講師とタイトル...日高庸晴氏(宝塚大学看護学部 准教授)「若者の性的指向と健康問題：学校保健で見落とされがちな視点について」、土肥いつき氏(京都府立高校 教諭)・宇佐美祥子氏(共生ネット 副代表)「事例報告」
12月11日(日)	第12回 支援学校における教育とケア 講師とタイトル...東優子氏(大阪府立大学社会福祉学部 教授)「福祉と教育の谷間～性の問題に対する視座への問い～」、浅野恭子氏(大阪府池田子ども家庭センター 児童心理司)「性の問題行動への教育的アプローチ」、池川典子氏・船木雄太郎氏(大阪府立泉北高等支援学校 養護教諭)・野坂祐子氏(大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター 准教授)「知的障がいのある生徒への支援実践」